



magazine

2010.6

携帯電話の 便利機能

最近の携帯電話の便利な機能を紹介します！

アパレルショップの 内装・外装

大好きなブランドの内装から外装まで松本目線で紹介します！

Color Column

毎回、ひとつの色を取り上げて、思いついたことを書き連ねます。

ポスター・広告 のデザイン

「透明な商品の
広告デザイン」

今回は「透明な商品の
広告はどのような
配色なのか」という
のをテーマに調べま
した！

お気に入り グッズ！

身近にあるインテリア
や雑貨、風景、建物、
カラーデザインやアー
トまで、とにかくいい
なと思ったものを紹介
していきます！

SHOWWINDOW

～原宿・表参道編～

都内ショップのショ
ーウィンドウ紹介、
第1弾!!!

色の錯視

色彩の検定用の本をもとに、
自分が興味を持った色の錯
視について調べました。

Stroll café

お散歩やショッピングの途
中に見つけたお気に入りの
カフェを紹介します！

建築 探訪

実際に訪れた建築を
学生視点で紹介！

おしゃれ カフェを 探せ

インテリアや雰
囲気にこだわっ
たカフェを紹介
します。

My idea ～傘～

日頃使う折りたたみ傘を
より使いやすく改善しま
した。

Menu

建 築 探 訪 ～ JR 二条駅～

京都市中京区にあるこの二条駅の構造は、なかなか珍しい木造トラス。島式ホーム 1 面 2 線の高架駅です。

ホームは 2 階にあり、エスカレーターをのぼるとすぐに目に飛び込んでくるのは木造トラス。

この木造トラスは、接着剤の発達のため木材をくっつけて 1 つの部材に仕上げてしまう『大断面集成材』を使ってトラスを組み、屋根をかけています。しかも素の木材よりも耐火面、強度面でも優れているそうです。

実はこの駅は 2 代目。旧二条駅は建築家の伊東忠太によって手掛けられた明治期の和風駅舎建築として唯一の残存例であり、京都の近代化を象徴する建物でもあることから 1996 年に京都市指定有形文化財に指定され、幅を縮小して梅小路蒸気機関車館に移築されています。

旧二条駅と比べ、賛否両論あったらしいですが 1997 年にグッドデザイン賞を受賞しています。

引用：

<http://ja.wikipedia.org/wiki/二条駅>

http://www.mediawars.ne.jp/~m921320/a_map/map_of_kyoto_06.htm



(R.I)

SHOWWINDOW ～原宿・表参道編～



【GAP】

子供服も大人の服も売られているお店です。ショーウィンドウは2か所あり、子供と大人に別れていました。売り出し中のカラフルなTシャツと、バケツやボートの漕ぐやつで夏を感じられるようになっています。マネキンと一緒にお店には売られていない小物を置くことで、季節を感じさせたり、人の目を惹くようにするのはショーウィンドウの特徴です。さらにここのはマネキンに動きがあるので、余計目を惹かれます。

【Kitson】

GAPとは違って、売られている服とバッグのみが飾られています。

マネキンに動きはなく、服が見やすくなっています。こう見ると、小物がなくても十分夏ということがわかります。服やバッグには使っていない色、ピンク色を背景に使っています。



【monomania】



ラフォーレ原宿に入っているお店のひとつです。ラフォーレ・クリーン・バスターズという原宿お掃除隊とラフォーレ原宿とコラボレーションして発売しているTシャツとスカートが飾られています。小物はお掃除隊ということで、掃除機とほうき、ちりとりが置かれています。服に合わせてショーウィンドウ全体を、流行のモノトーンとリボンで飾られています。

【最後に！】

今回紹介したショーウィンドウはどれも、洋服と背景に全く違う色が使われていました。その方が洋服がはっきり見えていいのだと思います。ですが右の写真の様に、同系色を使うところもありました。これを見るとやっぱり違う色の方が洋服は目立つ様な気がします。



(M.H)

『ポスター・広告のデザイン』

『ポスター・広告のデザイン』

ポスターや広告で宣伝したい内容を伝えるとき、文字のデザインや配置の仕方、そして特に色の使い方によって、それを見た際に私たちの心理面に及ぼす影響は大きく異なってくる。では、私たちがデザインする側に立った場合、どのようなポイントをおさえてデザインすればいいのか？私たちが「ポスターや広告のデザインはこういうものだろう」と思っていることは本当にそうなのか？ということ等について、特に自分が気になったことをこれから見ていきたい。

Q. 透明な商品を宣伝している広告の配色は？

一般的に商品の広告では、その商品と何かしら関連のある色（例えばチョコであったら茶色等）を用いて配色が考えられているものが多いと感じる。もちろん、必ずしもそのように関連した色を使わない場合もあるだろう。しかし、今回に関しては一般的に見かける、そして私達が考えているような広告の中において、では“透明な商品”はどのような配色がされているのだろうか？

実例を見る前に…

私は透明なものに対して、清涼感や軽いといったイメージをもっている。その印象から連想する、透明なもののイメージカラーは水色や白である。（※あくまで個人的な連想色）



No.1 い・ろ・は・すのペットボトル

いろはすのペットボトルとは、PET ボトルの材料となる樹脂の使用量を減らし、同時に環境負荷の軽減につながることを考慮しながら、開発された強度がありつつも飲み終わったら簡単にしぼりつぶせる新軽量のペットボトルである。この広告は背景が白であり、目立つ色といったら葉の緑の部分のみである。ペットボトル自体はあまり目立っていないが、このペットボトルの「植物生まれのプランボトル」という特徴は、シンプルながらも伝わってくる。この配色はペットボトルのラベルに使われている色と一緒にある。



No.2 パーティーフィート

足裏の痛みを和らげる、透明のソフトクッション。特に目立つ配色は基調色の紫である。この紫が用いられた理由は、この商品が入っているパッケージの配色がこの広告同様に紫と白であるからだろう。

A. 透明な商品を宣伝している広告の配色は、その商品のラベルやパッケージの色が使われることが多い…？

ここで紹介した二つの広告では、その商品から連想する色というよりも、やはりその商品のラベルの色やパッケージの色を主体としていた。これは、実際にそれを店頭で買うときにより探しやすいようにするための提案ではないかと思う。広告の最終目的は“目立つ”ことではなく“買ってもらう”ことであり、これを踏まえたと考えられた広告とそうでないものとは、やはり差が出てくるだろう。

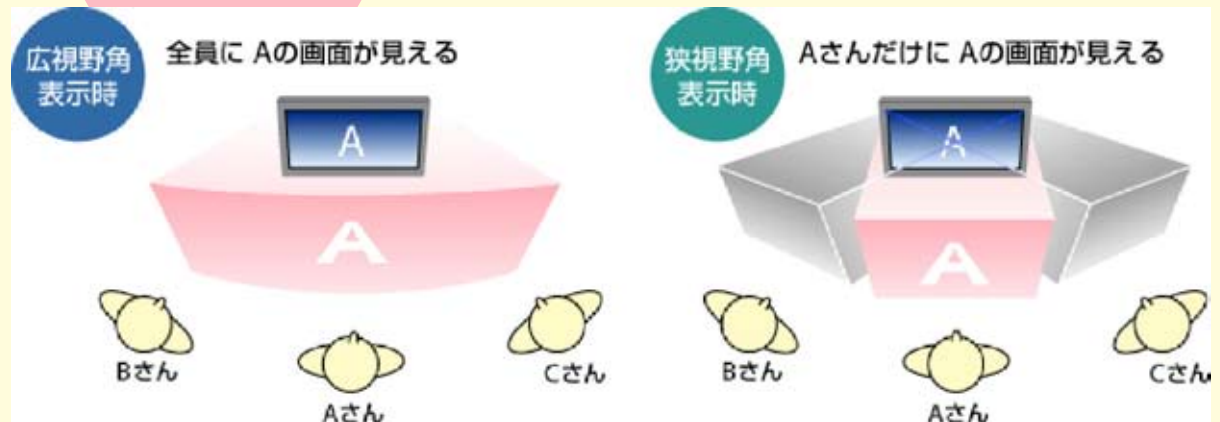
(M.Y)

会社による携帯電話の便利機能

シャープのベールビュー

ケータイのプライバシー保護として、よく「横の人からは見えないシール(のぞきこみ防止シール)」を貼っている人がいます。

シャープの「ベールビュー」とは、その「のぞきこみ防止画面」と「通常画面」とを、ボタンひとつでいつでも切り替えられるという画期的なしくみです。



私がいまのシャープ製のケータイに変えてすぐ、どこかのボタンを長押ししてしまい急に画面が真っ白になり、壊れた！と焦ったことがありましたが、よくよく調べてみるとこの「ベールビュー」だということがわかりました。この機能を知ったと同時に衝撃を受けたのを覚えています。

もともと「のぞきこみ防止シール」は、自分が見ずらくなるだけだし、必要ないと思っていました。ですがやはり、電車の中など見られたくないところはあるわけです。

そこで、この機能があれば、「見られたくない時」だけ、「のぞきこみ防止」ができ、また「家でひとりの時」は再度ボタンを長押しして普通の画面に切り替えればいいのです。

状況に応じて画面を変えられるなんてなんていいアイディア！！なんて画期的！！

(Y.M)

おしゃれカフェを探せ

桜ヶ丘カフェ



深夜4時までやっている渋谷駅から徒歩少し離れたところにあるカフェ。夜に行くと照明が暗めに設定されていて、席に座るとキャンドルを1つおいてくれました。



テーブルもイスもアンティーク感のあるもので、より落ち着いた雰囲気になっていました。所々に置かれたポスターや、スタンドライトが明るさを出しています。ドリンクやフードのメニューも充実していて、外にはかわいいヤギが2匹もいます！ぜひ一度行ってみてはいかがでしょうか？

(Y.T)



スターバックスコーヒー 鎌倉御成町店



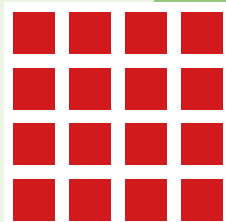
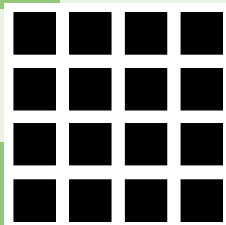
スターバックスの中でもテラスにプールがあるこのお店。漫画家の横山隆一氏の邸宅の跡地に建てられたお店なんです。バー（ドリンクを作っているところ）が見えるカウンター席や、落ち着いたソファ席など様々な座席があります。ソファ席の壁には横山氏の絵が飾られてあって、普段のスターバックスとはまた違った雰囲気が楽しめます。また、取り扱っているケーキはこの店オリジナルのもので、その中でも特におすすめなのが、シナモンロール。なんともこの店ですべて焼き上げているものなんです！焼きたてのシナモンロールにホイップをトッピングしたもの、ドリンクコーヒー。この組み合わせが一番おすすめです。鎌倉駅からも近く、駐車場もあるので、ぜひ行ってみてください。

色の錯視

私は色彩検定の本をもとに面白いと思ったことについて調べてみました。今回、私はハーマンガリッド、マッハバンド、透明視について調べてみました。

ハーマンガリッド

黒地に白の格子模様を重ねた時、白の交差する部分に灰色の影のようなものが見える、明るさの錯視。正方形に色をつけた場合は、同色相の低彩度色の影が見える。



マッハバンド

典型的な縁辺対比であり、グレイスケールなどの物理的には一定の明度で見られる帯が、より暗い領域と接する端では明るく、より明るい領域と接する端では暗く見える現象のこと。



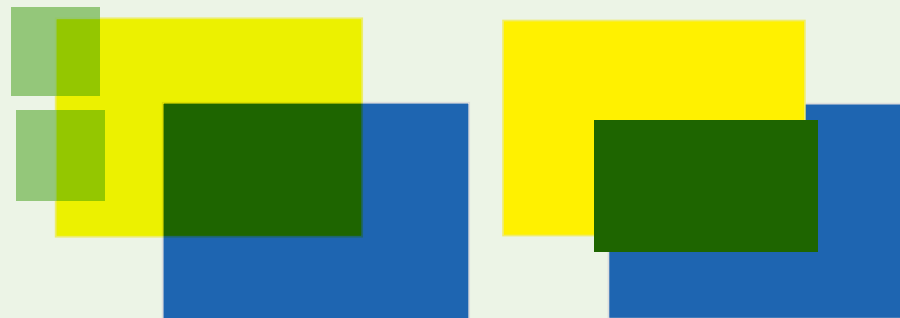
ハーマンガリッド、マッハバンドは生理学的に網膜で生じる「側抑制」で説明できる。

側抑制とは…双極細胞からの信号を受けた視細胞は色や明るさの境界があると輪郭線が存在するという情報を脳に送る。その時に隣接する領域の信号は大きな差はより大きな信号と、2色の差異を強調するために起こる。

ハーマンガリッドでは、交差する部分は他の白い部分に比べて、黒からの距離があるため対比が弱くなり、少し暗くなって灰色の影のようなものが見える。

透明視

2つの図形の重なった領域に最もふさわしい色を使うと、その部分が透けているように見える現象。視知覚がより単純で規則的な色の見え方を好むという原則により、結果的に重なった部分に透明な印象が生じる。図形をわずかにずらすと透明感が失われる。



(K.I)

アパレルショップの内装・外装



第一回目となる今回は、わたしの好きなブランドの1つでもあるコムデギャルソン青山店を紹介したいと思います。

皆さんも1度はハートに切れ長の目がついたTシャツを見かけたことはありませんか？それはコムデギャルソンの代表的なアイテムとなっています。

どの店舗を見ても、白や黒を基調としたデザインの内装が印象的だとわたしは感じました。これは、赤や緑など派手な色のアイテムが多くみられるため、内装を落ち着いた色合いにしてアイテムを際立たせるための演出ではないかとわたしは考えました。



しかし、ここで紹介した青山店は白や黒などではなく、青をメインとした外装と内装になっています。

コムデギャルソン青山店の紹介文を引用させてもらおうと、そこにはこう書かれていました。「店内にはチェックやドットを用いたオリジナリティあふれるアイテムなど独自の存在感を放つ作品が多数置いているにも関わらず、それに負けないデザインが内装だけでなく外装にも施されています。」

わたしが考えていたものとは全く逆のアイディアを用いて設計されたものでした。

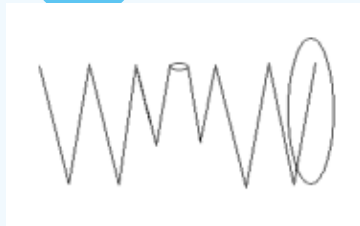
そしてこの内装と外装をデザインしたのは、コムデギャルソンのファッションデザイナー川久保玲氏なのです。川久保玲氏自らデザインを手がけたこの建物は個性的な外観で青山のメインスポットとなっています。

My idea ～傘～

日頃使う傘の用途は、日傘と雨傘の2つがあります。
また、折りたたみとなると、普通の傘より少し小さめなものが多いと思います。

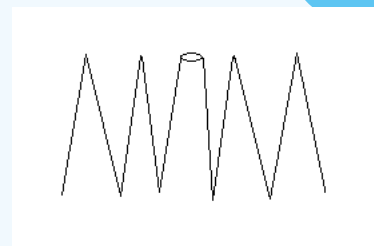
そこで、私は、折りたたみ傘でも、普通の傘と同じくらいの大きめの傘で、日傘と雨傘兼用の傘を提案したいと思います。

骨組み



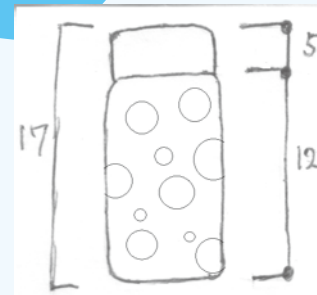
この骨組みだと、丸の部分を
手で開かないといけない
為、不便に感じます。

そこで、このような骨組みにすることを考えました。



この骨組みにすることで、
傘を開きやすくなります。

折りたたんだ図



折りたたんだ寸法は、
傘の枝の部分から、
17cm ほどである。

広げると、半径 60cm
の傘になる。

(M.F)

Stroll café

お散歩の途中に寄ってみませんか？

HATTIFNATT



デザートには可愛らしい顔が描かれて入れ食べるのがもったいない。お会計の時に持っていく番号札が木のスプーンだったり、刺繍で「メニュー」と書かれたメニューカバーなど、ちょっとした可愛さに女の子は弱い。



吉祥寺駅から線路沿いに10分ほど歩いた所にある小さなカフェ。入口は130cmの子供に合わせて作られている。



内装は壁一面にかわいらしい動物たちの絵が描かれて、まるで絵本の中に居るみたい。床やインテリアの木目からは暖かい雰囲気が出ていてとても居心地が良い。



(K.N)

お気に入りグッズ!!!

今回紹介するのは、ミッキーの面白い本です！これは、私が高校の修学旅行の時フランスで買ったものです。とにかく訳が分からない感じがとても良いです！たくさんの絵や写真がたくさん載っていて、必ずミッキーに関連しています。いくつか紹介します！



これはピカソの絵のようなミッキーとミニー！めっちゃぶさいくwww
しかし、何とも言えない可愛らしさ！ラインがカラフルになっていることで、なんとなくポップに見えるのでしょうか。



次はこれ！！柱の影が・・・ミッキーになっています！
今や、●が三つあればミッキーと呼べてしまうくらいですから、身近なところに隠れミッキーがたくさんあるかもしれませんね。

続いては・・・あれ？ミッキーがいないじゃないか！！
クレオパトラと探検家しかいない・・・
もっとズームしてみると・・・



！！！！！！
いました！！ミッキー！！



(Y.I)

白

Color Column

「白無垢」というのは、「あなたの家に嫁ぎ、その家風に染まります」という意味を持つと言われる。白は、色味を感じない無彩色の一種である。それが、このような謂われを創り出したのだろう。

しかし、これは光学的に言えばおかしい記述である。色は光が目に入ることによって初めて感じるができる。したがって、色がない状態というのは光がない状態、つまり白ではなくて黒のはずだ。それなのに、なぜ白が色が存在しない状態と感ずるのだろうか。

そう考えてくると、人々は光の性質を判断しているのではなくて、物体の表面を見ているのだということに気づく。すべての可視光線を万遍なく反射する白い紙は、絵の具を塗ることでその一部を吸収するようになり、色を発現させる。白い布地も染色することで一部を吸収することになり、色を発現させる。染めるという行為のベースは確かに白であり、それ以外の色、たとえば灰色や黒ではきれいな色を発現させることはできない。

きれいな色というのも、ずいぶん曖昧な表現だが、純色（白、黒、灰色が混ざっていない赤、オレンジ、青、緑のような色）に黒や灰色を混ぜていくと、色は濁っていく。しかし、白を混ぜたときには濁っていくという感覚はない。純色の純粋さを保ったまま明るさを増し、柔らかさを増していく。明清色系列と呼ばれるそれは、人々に好まれる色の系列でもある。

日本人は、白がお好みだ。必ず嗜好色の上位に名を連ねる。そこには、色の明るさと純粋さと他の色と混じり合っても濁らない白の性質が関わっているのだろう。

混ぜても濁らないというだけでなく、白はさまざまな色と併置できる許容量の大きな色である。試しに他の色と組み合わせるといい。配色したときにも、白は多くの色とペアを、グループを構成できる色である。カラー印刷の背景は、昔から白がベースである。

昔のモニターは背景が黒かったり暗緑色だったりした。それに比べると、白が標準となってから、ずいぶん色の出方が良くなったように思う。

白は、このようにいろいろな色と馴染むことができる一方、主張する色でもある。私が育った家の内壁はプラスターの白だった。天井も白。親父の日曜大工の成果だが、それが強い。もう少し白さを弱めて欲しいと思ったものだ。父はその純粋さがお気に入りなのだと思うが、それは迫ってくる強さを持ってもいる。そう、子供の頃に白衣の医者が怖かったように。

だから、私はほとんど白を着ない。白が怖いのだ。自分を白のように清純で潔白で毅然とした存在と見せたいのである。... たぶん、何らかの精神的な病気の人にも、白を怖いと感ずる人達が居るだろうと思う。

周囲と融和するそぶりを見せながら、その実、周囲と画然とした孤高の存在。「白」には、そういった二面性の存在を感ずる。

(K. M.)

これは、環境デザイン研究室の3年生が作成する研究室マガジンです。

これから、月刊で6回ほど発行予定です。
お楽しみに

実践女子大学
生活環境学科
環境デザイン研究室